

産地パワーアップ事業

1 生産技術高度化施設整備事業

もうかるブランド推進課

2 集出荷貯蔵施設整備事業

もうかるブランド推進課

産地パワーアップ事業

「株式会社いせや農場」の高度環境制御栽培施設の整備概要

「里浦農業協同組合」のかんしょ・だいこん集出荷施設の整備概要

1 産地パワーアップ事業について

平成27年10月のＴＰＰの大筋合意を受け、「総合的なＴＰＰ関連政策大綱」が示され、「攻めの農林水産業への転換」を実現するため、平成27年度補正予算において新規に事業化された基金事業である。

本事業では、「地域農業再生協議会」が地域の営農戦略として策定する産地パワーアップ計画」を県で認定し、意欲のある農業者等が取り組む高収益作物・栽培体系への転換、果樹の同一品種への改植などの取組みの支援が可能となっている。

2 産地パワーアップ事業の概要について

本事業では、水田・畑作・野菜・果樹等の園芸品目を対象とし、生産・出荷コストの１０％以上の低減、販売額の１０％以上の向上などの収益力強化に計画的に取り組む産地に対して、

- ①園芸団地を育成するためのハウスや集出荷施設等の整備
- ②収穫機や環境制御装置等の高効率・高性能な農業機械のリース導入
- ③雨よけハウスや果樹棚等の高付加価値化に必要な生産資材の導入
- ④果樹の競争力のある品種について、同一品種の改植

など総合的な支援が行えるとともに、基金造成により複数年の事業実施が可能となっている。

- ・平成27年度補正予算額：50,500百万円
- ・平成28年4月1日付け各都道府県別に、「日本特産農産物協会」より予算枠が提示。
 - 本県予算枠：458,005千円
 - 内 訳 整備事業：215,757千円
 - 生産支援事業：242,248千円
 - 基金管理団体：公益財団法人 日本特産農産物協会

3 各整備施設の概要

①「株式会社いせや農場」の高度環境制御栽培施設の整備概要

徳島県鳴門市は、砂地畑を活用したかんしょ・だいこん・れんこんの特産作物を中心とした産地を形成している。

しかし、施設園芸は産地化されていないことから、地元産野菜の産直市等への周年供給や就農希望者から高収益な栽培体系としてもニーズが高く、地域農業の活性化のためには、施設園芸の新たな産地化が喫緊の課題となっている。

そこで、施設野菜の産地化を図るため、産地パワーアップ事業を活用し高度環境制御を用いたハウス施設を新設し「いちご」の大規模栽培を開始する。

【事業の概要】

産地パワーアップ事業

単位：千円

メニュー	施設区分	補助率	事業費	補助金
整備事業	生産技術高度化施設	1／2	198,405	91,854

【施設の概要】

高度環境制御栽培施設

- ・低コスト耐候性ハウス：5棟 3,888㎡
- ・高度環境制御装置：1台
- ・養液栽培設備：一式
- ・栽培品目：いちご
- ・設置場所：鳴門市大麻町東馬詰

【取組内容】

- ・高度環境制御装置を用い高収量かつ安全な次世代いちご栽培の実証
- ・産直市での直接販売などを中心とした高収益経営モデルの実証

【成果目標】

- ・販売額の増加 0円 → 39,232,400円

②「里浦農業協同組合」のかんしょ・だいこん集出荷施設の整備概要

徳島県鳴門市里浦地区は、砂地畑を活用した「かんしょ・だいこん」のブランド産地である。

現在、集出荷場の集荷能力が不足していることから、一部適期に収穫できていない。

また、集荷後も集出荷場に入りきらず、ひさしの下等で保管している状況であり、集荷後の品質低下が問題となっている。

更に、集荷物に対する検査場が十分に確保できていないことから、十分な検査が行えず下位等級に格付けしている状況である。

このため、産地パワーアップ事業により集出荷場を新設し集出荷効率の向上に取り組む。

【事業の概要】

産地パワーアップ事業

単位：千円

メニュー	施設区分	補助率	事業費	補助金
整備事業	集出荷貯蔵施設	1 / 2	267,630	123,903

【施設の概要】

高度環境制御栽培施設

- ・集出荷施設：1,894㎡
- ・栽培品目：かんしょ、だいこん
- ・設置場所：鳴門市里浦町里浦

【取組内容】

- ・荷受け面積を拡大することで、集荷後の保管環境を改善、検査体制の強化、適期収穫により上位階級率の向上を図る
- ・計画生産による生産拡大等により、生産拡大を図る。

【成果目標】

- ・販売額の増加 かんしょ：944,742,721円 → 1,007,747,815円
 だいこん：268,466,580円 → 326,998,883円